

健康と予防 2017/10/16

## 薬によって視力に害が及ぶことがあります

薬によっては服用する際に注意する必要があります。ある特定の状況下では、目に損傷を与える可能性があるからです。

目の異常または目の病気が起こる原因は、必ずしも、視力障害とは限りません。接種する薬によっては、目が正常に機能しなくなる場合もあります。

私たちの目が健康であれば > [暗闇の中](#)でもまばゆい太陽の下でも物を見ることができます。私たちの目は何千もの色を識別することができ、また空中を飛ぶゴルフボールを見ることが可能です。しかし、それはもちろん、人間の「カメラ」が正常に機能している場合にのみ可能なことです。次のことを理解することが重要です:時に私たちにとって最も重要な感覚器官が最適に機能しないのは、必ずしも目の異常または目の病気が原因となっているわけではありません。私たちの目に直接影響を与える薬もたくさんあります。

If you are あらゆる薬の副作用には次のような症状があります:ドライアイ、光に対する強い過敏症、グレア、かすみ目、空間認知の変化、暗い所から明るい所に移動した時の目の調節の難しさ。また、薬によっては紫外線の浸透を高めるものがあります。これも目に影響を及ぼします。

もし、こうした > [症状を経験している場合には](#)、医師に相談することをお勧めします。あなたが服用している薬と、副作用の情報を目にしたからといって、医師に相談なく薬の服用を止めないでください。医師に具体的な症状を伝えてください。大抵の場合、代わりの薬を処方してもらえます。

### 簡単な概要:

#### 経口避妊薬(ピル)

製剤によってはドライアイを引き起こします。婦人科医に相談して、別の処方箋を処方してもらってください。このような症状は「人工涙液」(例えば、ヒアルロン酸)で抑えることができます。人工涙液は薬局で購入することができます。

#### 抗生物質

いくつかの製剤は視力異常と焼けるような目の痛み、そして時には光に対する強い過敏症を引き起こす場合があります。非常にまれなケースでは、角膜の変色へとつながります。抗生物質での治療を終えると症状はなくなります。しかしながら、上記の問題を経験した場合は医師に相談してください。代わりの調剤を処方してくれるかもしれませんが、代わりの調剤がない場合には、治療期間における車の運転やその他の活動を控えることをお勧めします。光に対する過敏症には、良質なサングラスを装着することをお勧めします。それによって目を休めることができます。

### 抗アレルギー薬

抗アレルギー目薬には通常、局所的抗ヒスタミン剤が含まれています(ヒスタミンは体内で自然に生成される伝達物質で、時にアレルギー反応を引き起こします)。抗ヒスタミン剤配合目薬はアレルギー反応によって引き起こされる結膜炎にとっても効果があります。しかしそれは、ごくわずかな人に対して、目の炎症、目の焼けるような痛み、ドライアイ、かすみ目、光に対する過敏症、そして涙の増加をもたらす場合があります。ポイント: その他の治療法があるか、医師に確認してください。

### 抗不整脈薬

抗不整脈薬は心不整脈を患っている方に効果があります。調剤によっては(特にアミオダロン)角膜の前面に微生物堆積を発生させます。通常、これによって視力に影響が及ぶことはありませんが、非常にまれにかすみ目や光源の周りに着色輪が生じることがあります。薬での治療が終了すると症状はなくなります。これらの症状が現れたら、医師に相談してください。運転や仕事に支障をもたらす可能性があります。

### 高血圧治療薬

高血圧治療薬は高血圧症を患っている人にとって非常にありがたいものですが、同時にドライアイを引き起こす場合もあります。ポイント: 高血圧治療薬を服用していて不快な副作用が現れた場合には、医師に連絡してください。薬局で簡単に購入できる「人工涙液」によって症状を緩和できる場合があります。

### 鎮痛剤

たびたび使用される非ステロイド系リウマチ治療薬(NSAR)-アセチルサリチル酸、ジクロフェナクまたはイブプロフェン配合-は、まれにかすみ目または複視を引き起こします。これらの薬を服用した後に上記の症状が現れた場合には、医師に別の調剤を処方するようにお願いしてください。ごくわずかな鎮痛剤に、瞳孔を狭めるものがあります。瞳孔が狭くなると、主に暗闇の中で物を見ることが出来にくくなります。その場合も、鎮痛剤を別の調剤に変えることが最善の解決策です。

いくつかの薬が欠点または副作用をもたらすといっても、不安を抱く必要はありません。概していえば、医師は間違いなくあなたを助けてくれるでしょうし、また潜在的な問題は、それが発生する前に回避できます。

### コルチゾン配合薬

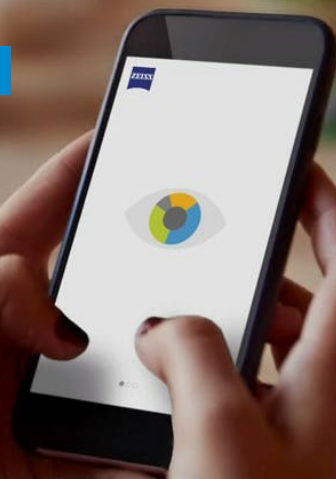
通常、コルチゾン配合薬は体の様々な感染症のために使用されます。長期間の治療中に、それは目に様々な変化をもたらす場合があります: 目の内圧の増加(緑内障)および視神経への後続損傷。

同様に、コルチゾン配合薬は白内障の形成速度を速める可能性があります。しかし、コルチゾン配合薬を用いた短期治療は通常、目にいかなる永続的な変化をもたらしません。

## 視覚プロフィールチェック

ご自分の視覚習慣を確かめ、最適なレンズソリューションを見つけましょう。

視覚プロフィールを今すぐチェック!



## お近くのZEISS取扱店を探す

住所



## 関連記事



### 暗い明かりでの読書は目を傷めるでしょうか？

「暗い明かりでの読書は目を傷める」、これは誰もが聞いたことがある一般的認識です。しかし、最近の研究は、それが全く真実ではないことを示しています。

健康と予防 2017/10/16  
タグ：予防



### 人参は目に良いのでしょうか？

子どもの頃から、私たちは人参は目に良いと教えられてきました。残念ながら、これはある程度までしか正しくありません。

健康と予防 2017/10/16  
タグ：予防



### 目のためのエクササイズ

私たちの目は、毎日負担の重い作業を行っています。簡単で軽いいくつかのエクササイズで、目の疲れを癒すことができます

健康と予防 2017/10/16  
タグ：予防



### 良い視力がなぜそれほど重要なのでしょうか

ひとつでも感覚が失われると、他の感覚がそれを補わなければなりません。目は、このとき特に重要な役割を果たしています。

健康と予防 2017/10/16  
タグ：予防



#### もっと見る

視覚について理解する

健康と予防

ライフスタイルとファッション

運転とモビリティ

#### 最適なオプションを選ぶ

遠用メガネおよび老眼用メガネ

遠近両用メガネ

サングラス

仕事用メガネ

#### サービス

視覚プロフィールチェック

オンラインビジョンチェック

#### 眼鏡店向け

測定機器とテクノロジー

ZEISSメガネレンズ

ZEISSクリーニングソリューション

スポーツとレジャー  
仕事

スポーツメガネ  
子供用メガネ  
レンズコーティング  
コンタクトレンズ  
レンズクリーニング  
眼鏡店に行く前に